

2026年1月14日

各 位

会 社 名 株式会社シーラホールディングス
代表者名 代表取締役会長CEO 杉本 宏之
(コード：8887、東証スタンダード)
問合せ先 執行役員CFO 我妻 心
(TEL. 03-4560-0640)

(訂正・数値データ訂正)「2026年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、2025年10月15日に発表した表記開示資料について訂正がありましたのでお知らせします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。

記

1. 訂正の理由

「2026年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」公表後、投資事業部の損益を営業取引として計上すべきところ、営業外取引として計上されていること、及び包括利益計算書に誤りあることが判明しましたので、これを訂正するものです。

2. 訂正の内容

訂正箇所には下線を付して表示しております。

○サマリー情報

【訂正前】

(百万円未満切捨て)

1. 2026年5月期第1四半期の連結業績(2025年6月1日～2025年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年5月期第1四半期	8,553	—	677	—	452	—	5,689	—
2025年5月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2026年5月第1四半期 5,678百万円(—%) 2025年5月期第1四半期 —百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年5月期第1四半期	136.98	133.65
2025年5月期第1四半期	—	—

(省略)

【訂正後】

(百万円未満切捨て)

1. 2026年5月期第1四半期の連結業績(2025年6月1日～2025年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年5月期第1四半期	8,584	—	705	—	452	—	5,689	—
2025年5月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2026年5月第1四半期 5,709百万円(—%) 2025年5月期第1四半期 —百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年5月期第1四半期	136.98	133.65
2025年5月期第1四半期	—	—

(省略)

○添付資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

【訂正前】

(省略)

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は8,553百万円、営業利益は677百万円、経常利益は452百万円となりました。また、当第1四半期連結累計期間において、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(企業結合に関する注記)」に記載のとおり、株式会社シーラテクノロジーとの経営統合に伴い、「負ののれん発生益」(特別利益)7,904百万円、「段階取得に係る差損」(特別損失)2,259千円を計上しております。この結果として、四半期純利益は5,683百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(省略)

① 総合不動産事業

総合不動産事業は、主として、用地仕入れから企画・設計、建築、販売までを一貫して自社で遂行する垂直統合型の事業モデルにより、主力ブランド「SYFORME(シーフォルム)」シリーズ等を都心部を中心に展開しております。当第1四半期連結累計期間においては、主力である新築区分マンション販売の他、東京都中央区の土地、千代田区の収益ビル、川崎市の共同住宅等を販売したことにより、売上高が7,465百万円、セグメント利益が1,229百万円となりました。

② 不動産管理事業

不動産管理事業は、主に、販売後のアフターサービスとして、アセットマネジメント、プロパティマネジメント、ビルマネジメントを包括的に提供しております。家賃集金代行や入退去対応などオーナー様の管理負担を軽減し、管理効率と安心を実現しており、当社の岩盤収益基盤を形成しています。これらの管理運営に伴う賃料収入は、長期的・安定的なストック収入として当社の収益を支えています。当第1四半期連結累計期間においては、賃料収入、賃貸管理売上等により売上高が666百万円、セグメント利益が234百万円となりました。

③ 建設事業

建設事業は、商品性の向上や収益性の最大化を目指し、設計・仕様の見直しや計画再構築を推進し、グループ内製法の推進により、外注から建設原価の抑制に努めています。当第1四半期連結累計期間においては、自社開発物件の建設工事や請負工事の受注等により売上高が45百万円、セグメント損失が63百万円となりました。

④ 再生可能エネルギー事業

再生可能エネルギー事業は、主として、太陽光発電に関わるすべての工程を一括して担うシステムインテグレーターとして、土地の仕入れから設計・施工、運用、保守管理までをワンストップで提供しております。当第1四半期連結累計期間においては、電力販売および太陽光発電所の運営・保守等により売上高が343百万円、セグメント損失が26百万円となりました。

⑤ その他事業

その他事業につきましては、売上高が37百万円、セグメント損失が9百万円となりました。

【訂正後】

(省略)

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は8,584百万円、営業利益は705百万円、経常利益は452百万円

となりました。また、当第1四半期連結累計期間において、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（企業結合に関する注記）」に記載のとおり、株式会社シーラテクノロジーとの経営統合に伴い、「負ののれん発生益」（特別利益）7,904百万円、「段階取得に係る差損」（特別損失）2,259千円を計上しております。この結果として、四半期純利益は5,683百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（省略）

① 総合不動産事業

総合不動産事業は、主として、用地仕入れから企画・設計、建築、販売までを一貫して自社で遂行する垂直統合型の事業モデルにより、主力ブランド「SYFORME（シーフォルム）」シリーズ等を都心部を中心に展開しております。当第1四半期連結累計期間においては、主力である新築区分マンション販売の他、東京都中央区の土地、千代田区の収益ビル、川崎市の共同住宅等を販売したことにより、売上高が7,465百万円、セグメント利益が1,229百万円となりました。

② 不動産管理事業

不動産管理事業は、主に、販売後のアフターサービスとして、アセットマネジメント、プロパティマネジメント、ビルマネジメントを包括的に提供しております。家賃集金代行や入退去対応などオーナー様の管理負担を軽減し、管理効率と安心を実現しており、当社の岩盤収益基盤を形成しています。これらの管理運営に伴う賃料収入は、長期的・安定的なストック収入として当社の収益を支えております。当第1四半期連結累計期間においては、賃料収入、賃貸管理売上等により売上高が666百万円、セグメント利益が234百万円となりました。

③ 建設事業

建設事業は、商品性の向上や収益性の最大化を目指し、設計・仕様の見直しや計画再構築を推進し、グループ内製法の推進により、外注から建設原価の抑制に努めています。当第1四半期連結累計期間においては、自社開発物件の建設工事や請負工事の受注等により売上高が45百万円、セグメント損失が63百万円となりました。

④ 再生可能エネルギー事業

再生可能エネルギー事業は、主として、太陽光発電に関わるすべての工程を一括して担うシステムインテグレーターとして、土地の仕入れから設計・施工、運用、保守管理までをワンストップで提供しております。当第1四半期連結累計期間においては、電力販売および太陽光発電所の運営・保守等により売上高が343百万円、セグメント損失が26百万円となりました。

⑤ その他事業

その他事業につきましては、売上高が68百万円、セグメント利益が18百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

【訂正前】

（資 産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、41,082百万円となりました。その主な内訳は、仕掛販売用不動産16,490百万円、販売用不動産10,892百万円、現金及び預金10,443百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、21,751百万円となりました。その主な内訳は、有形固定資産18,280百万円であります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、62,833百万円となりました。

（省略）

【訂正後】

（資 産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、41,316百万円となりました。その主な内訳は、仕掛販売用不動産16,490百万円、販売用不動産10,892百万円、現金及び預金10,443百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、21,517百万円となりました。その主な内訳は、有形固定資産18,280百万円であります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、62,833百万円となりました。

(省略)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

【訂正前】

(単位：百万円)

当第1四半期連結会計期間
(2025年8月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	10,443
売掛金及び契約資産	147
商品	73
販売用不動産	10,892
仕掛販売用不動産	16,490
未成工事支出金	1,952
その他	1,329
貸倒引当金	△246
流動資産合計	41,082
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物（純額）	5,132
機械及び装置（純額）	427
土地	12,517
その他（純額）	202
有形固定資産合計	18,280
無形固定資産	
のれん	360
その他	109
無形固定資産合計	470
投資その他の資産	3,000
固定資産合計	21,751
資産合計	62,833

【訂正後】

(単位：百万円)

当第1四半期連結会計期間
(2025年8月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	10,443
売掛金及び契約資産	147
商品	73
販売用不動産	10,892
仕掛販売用不動産	16,490
未成工事支出金	1,952
営業投資有価証券	233
その他	1,329
貸倒引当金	△246
流動資産合計	41,316
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物（純額）	5,132
機械及び装置（純額）	427
土地	12,517
その他（純額）	202
有形固定資産合計	18,280
無形固定資産	
のれん	360
その他	109
無形固定資産合計	470
投資その他の資産	2,766
固定資産合計	21,517
資産合計	62,833

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

【訂正前】

	(単位：百万円)
	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)
売上高	8,553
売上原価	6,737
売上総利益	1,815
販売費及び一般管理費	1,137
営業利益	677
営業外収益	
受取利息	3
投資有価証券売却益	28
投資事業組合運用益	20
その他	13
営業外収益合計	66
営業外費用	
支払利息	217
支払手数料	61
持分法による投資損失	2
その他	9
営業外費用合計	290
経常利益	452
特別利益	
負ののれん発生益	7,904
特別利益合計	7,904
特別損失	
減損損失	27
事務所移転費用	30
段階取得に係る差損	2,259
特別損失合計	2,317
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	6,040
匿名組合損益分配額	36
税金等調整前四半期純利益	6,003
法人税、住民税及び事業税	124
法人税等調整額	194
法人税等合計	319
四半期純利益	5,683
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,689

【訂正後】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)
売上高	8,584
売上原価	6,740
売上総利益	1,843
販売費及び一般管理費	1,137
営業利益	705
営業外収益	
受取利息	3
投資事業組合運用益	20
その他	13
営業外収益合計	37
営業外費用	
支払利息	217
支払手数料	61
持分法による投資損失	2
その他	9
営業外費用合計	290
経常利益	452
特別利益	
負ののれん発生益	7,904
特別利益合計	7,904
特別損失	
減損損失	27
事務所移転費用	30
段階取得に係る差損	2,259
特別損失合計	2,317
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	6,040
匿名組合損益分配額	36
税金等調整前四半期純利益	6,003
法人税、住民税及び事業税	124
法人税等調整額	194
法人税等合計	319
四半期純利益	5,683
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,689

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

【訂正前】

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間
(自 2025年6月1日
至 2025年8月31日)

四半期純利益	5,683
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	<u>△5</u>
その他の包括利益合計	<u>△5</u>
四半期包括利益	<u>5,678</u>
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	5,683
非支配株主に係る四半期包括利益	△5

【訂正後】

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間
(自 2025年6月1日
至 2025年8月31日)

四半期純利益	5,683
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	<u>25</u>
その他の包括利益合計	<u>25</u>
四半期包括利益	<u>5,709</u>
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	5,714
非支配株主に係る四半期包括利益	△5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

【訂正前】

(省略)

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

当第1四半期連結累計期間（自 2025年6月1日 至 2025年8月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他事業 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注3)
	総合不動産 事業	不動産管理 事業	建設 事業	再生可能 エネルギー 事業	計				
売上高									
一時点で移転 される財	7,458	4	18	1	7,482	<u>6</u>	<u>7,488</u>		<u>7,488</u>
一定の期間に わたり移転さ れる財	5	158	27	335	526	31	558		558
顧客との契約 から生じる収 益	7,463	163	45	336	8,009	<u>37</u>	<u>8,046</u>		<u>8,046</u>
その他の収益	1	502	—	2	506	—	506		506
外部顧客への 売上高	7,465	665	45	339	8,516	<u>37</u>	<u>8,553</u>	—	<u>8,553</u>
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	0	—	3	4	—	4	△4	—
計	7,465	666	45	343	8,521	<u>37</u>	<u>8,558</u>	△4	<u>8,553</u>
セグメント利 益又は損失 (△)	1,229	234	△63	△26	1,373	<u>△9</u>	<u>1,364</u>	△686	<u>677</u>

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益の調整額△686百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△686百万円が含まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、総合不動産事業において、賃貸仲介に関する固定資産において、当初想定されていた収益を下回る見込みとなったため27百万円の減損損失を計上いたしました。

(省略)

【訂正後】

(省略)

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

当第1四半期連結累計期間（自 2025年6月1日 至 2025年8月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他事業 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注3)
	総合不動産 事業	不動産管理 事業	建設 事業	再生可能 エネルギー 事業	計				
売上高									
一時点で移転 される財	7,458	4	18	1	7,482	37	7,519		7,519
一定の期間に わたり移転さ れる財	5	158	27	335	526	31	558		558
顧客との契約 から生じる収 益	7,463	163	45	336	8,009	68	8,077		8,077
その他の収益	1	502	—	2	506	—	506		506
外部顧客への 売上高	7,465	665	45	339	8,516	68	8,584	—	8,584
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	0	—	3	4	—	4	△4	—
計	7,465	666	45	343	8,521	68	8,589	△4	8,584
セグメント利 益又は損失 (△)	1,229	234	△63	△26	1,373	18	1,392	△686	705

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益の調整額△686百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△686百万円が含まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、総合不動産事業において、賃貸仲介に関する固定資産において、当初想定されていた収益を下回る見込みとなったため27百万円の減損損失を計上いたしました。

(省略)